

秋の備

戦前、中国に教鞭をとっていた先輩が、この夏四十年ぶりに思い出の中国を旅して、中国の様子を語ってくれた。

「自然に逆らわぬ農耕」

春ともなれば広大な土地に農夫の畑仕事が始まる。どの農夫を見ても、焦ることなく悠々と鋤を振り、時には煙草を吸い、茫洋として野原を眺めながら農耕している。これを端で見ていた日本人がそののろさに飽きられ、一丁仕掛けて、あなたの鋤つくりと私の鋤つくりどちらが早い競争してみよう」と申し入れた。

日本人は鉢巻きをし、鋤を手にした。一時間もたつと太

陽が輝き出し、気温は上ってくる、汗が流れてくる。喉が乾く、乾けば水を呑む、ついに三時間でへばってしまつた一方、中国人は慌てふためかす競っているなども念頭になく、相も交らず、ゆつたりゆつたりと鋤を使っている。汗すれば休み、疲れば憩をとり、昼までには、日本人の一・五倍の鋤つくりを仕上げた。一見スローモーな動きであるが、こつこつと長続きする運びは言うなれば力の善用である。

諸事短兵急に事を片づけようとする日本人は、時には挫折も起る。長期の仕事となれ

大陸は人を育てる

農耕が行われ、大農経営となれば三・四頭は飼育し、車をひいたり、農耕に使っていたものである。彼等にとっては牛馬は最良の「乗用車」であり、「トラクター」でもあった。従ってこれを使うには、常に労りと、酷使を避ける使いこなしを心得ていた。

(板垣)

あけましておめでとうございます。今年を丑年、あなたは牛というとなにを連想をしますか。のんびり、のっそり、それとも厚いビフテキ、牛肉の貿易自由化問題、と思いはさ

まぎまぎでしょう。近ごろ、若い人のマスコットとして、なぜか白と黒の牛が流行しています。牛が役牛として田畑を耕しているのを見たことのない若者たちには牧場ののんびりと暮らしている乳牛は、童話の世界に出てくるようなベットのイメージが強いのでしょう。しかし、歴史をさかのぼってみますと、牛は、ベットどころか「新技術」だったことが分かります。

牛に引かせたすきによる耕作は、紀元前三〇〇〇年ごろメソポタミア(現在のイラクを中心とした地域)やエジプトで発明されていたそうです。この新技術は、くわによる耕作に比べ、はるかに広い田畑を深く掘り返すことができ農業の生産力に革命的な進歩をもたらしたということです。

昭和五十八年度一般会計決算の認定

昭和三十五年を目標年次とした「二十一世紀に向けて明るく健康的で人間性豊かな魅力ある村」をめざす、横越村の地域振興、行政運営の指針を制定した。基本構想の中に未来像あすの横越村、人口の見通し、土地利用の規模、都市の基盤整備、生活環境の整備、社会福祉の充実、教育文化の向上、産業振興、コミュニティの形成、適正な行政運営などの施策の大綱が示されている。

岩橋光御氏(横越・58歳)の再任を同意。

昭和五十九年度一般会計補正予算

歳入に五、八二八万三千円を追加
 二、〇〇〇万七千円を減額
 歳出に三、九九一七千円を追加
 六四万一千円を減額して、歳入歳出予算の総額は、それぞれ二億九、四二六万九千円となった。

おもな補正予算の内容は、庁舎建設の変更工事不足分、二、九〇〇千円
 新庁舎用備品購入費 三、三〇〇千円
 農地流動化奨励金 一、五二二千円

なんでも相談室

1月20日(日)

場所 村長室

村長が直接相談に応じています。気軽にご利用ください。

・とき 1月27日

・ところ 五日町スキー場

・募集人員 50名

先着順定員になりしだい締め切ります。

申し込み

1月20日まで横越村公民館へ

十二月定例会が十二月十八日から八日間の会期で開かれ、昭和五十八年度一般会計決算認定をはじめ、五つの特別会計決算認定、第三次総合計画基本構想の制定など二一議案と請願一件について審議し、原案通り可決承認されました。

また、一般質問は、会期七日目の二十四日行われ、八人の議員が昭和六十年年度の重点施策、道路改良、工業団地、下水対策、現庁舎の利用、人事管理、新バス路線の実現、児童館の利用など、村執行部の考えを質しました。

総合計画基本構想を制定

58年度一般会計・特別会計決算を認定

昭和三十五年を目標年次とした「二十一世紀に向けて明るく健康的で人間性豊かな魅力ある村」をめざす、横越村の地域振興、行政運営の指針を制定した。基本構想の中に未来像あすの横越村、人口の見通し、土地利用の規模、都市の基盤整備、生活環境の整備、社会福祉の充実、教育文化の向上、産業振興、コミュニティの形成、適正な行政運営などの施策の大綱が示されている。

岩橋光御氏(横越・58歳)の再任を同意。

昭和三十五年を目標年次とした「二十一世紀に向けて明るく健康的で人間性豊かな魅力ある村」をめざす、横越村の地域振興、行政運営の指針を制定した。

基本構想の中に未来像あすの横越村、人口の見通し、土地利用の規模、都市の基盤整備、生活環境の整備、社会福祉の充実、教育文化の向上、産業振興、コミュニティの形成、適正な行政運営などの施策の大綱が示されている。

岩橋光御氏(横越・58歳)の再任を同意。

昭和三十五年を目標年次とした「二十一世紀に向けて明るく健康的で人間性豊かな魅力ある村」をめざす、横越村の地域振興、行政運営の指針を制定した。

基本構想の中に未来像あすの横越村、人口の見通し、土地利用の規模、都市の基盤整備、生活環境の整備、社会福祉の充実、教育文化の向上、産業振興、コミュニティの形成、適正な行政運営などの施策の大綱が示されている。

岩橋光御氏(横越・58歳)の再任を同意。

昭和三十五年を目標年次とした「二十一世紀に向けて明るく健康的で人間性豊かな魅力ある村」をめざす、横越村の地域振興、行政運営の指針を制定した。

基本構想の中に未来像あすの横越村、人口の見通し、土地利用の規模、都市の基盤整備、生活環境の整備、社会福祉の充実、教育文化の向上、産業振興、コミュニティの形成、適正な行政運営などの施策の大綱が示されている。

岩橋光御氏(横越・58歳)の再任を同意。

建設工事等入札結果

1.工事名	公共下水道測量設計及び地質調査委託業務
2.工事場所	横越地内
3.入札月日	昭和59年11月9日
4.入札者数	3業者
5.落札者	1,000万円
6.落札額	(株)オリジナル設計事務所
7.工期	S 59.11.29~60.3.8

お知らせ

村民スキー教室

参加者募集

年頭のごあいさつ

横越村長 浅見良一

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

輝かしい年頭に当り謹んで新春のおよろこびを申し上げます。

昨年は、村民各位の御理解ある御力添えをいただきまして村の仕事も順調に運び、村民のシンボルである役場新庁舎も立派に完成この四月からスタートする事になりました。今、ここに新しい年を迎え改めて村政の責任の重大さを痛感し決意を新たに、皆様の御信頼と御期待にこたえて行く所存であります。

今や、国の内外を問わず世界的な時代変化の潮流がもたらした数多くの困難な問題に直面しております。

経済不況の中で国の財政事情も悪化の一途をたどり、正に、地方自治体の財政も危機

村の限らない発展のために一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます。今年を丑年、あなたは牛というとなにを連想をしますか。のんびり、のっそり、それとも厚いビフテキ、牛肉の貿易自由化問題、と思いはさ

まぎまぎでしょう。近ごろ、若い人のマスコットとして、なぜか白と黒の牛が流行しています。牛が役牛として田畑を耕しているのを見たことのない若者たちには牧場ののんびりと暮らしている乳牛は、童話の世界に出てくるようなベットのイメージが強いのでしょう。しかし、歴史をさかのぼってみますと、牛は、ベットどころか「新技術」だったことが分かります。

牛に引かせたすきによる耕作は、紀元前三〇〇〇年ごろメソポタミア(現在のイラクを中心とした地域)やエジプトで発明されていたそうです。この新技術は、くわによる耕作に比べ、はるかに広い田畑を深く掘り返すことができ農業の生産力に革命的な進歩をもたらしたということです。

その後の、農業のほか交通、運搬などにも牛が用いられるようになりましたが、これは人間の肉以外の力を動力に利用した最初の試みの一つだとされています。そして、十七・十八世紀になって蒸気機関が発明、実用化されるまで牛をしのぐ技術上の進歩は見られないといえますから、いかに長い間、牛が新技術として「君臨」してきたかが分かります。

とはいえ、いまでは全く牛の働く姿が見られなくなり、トラクターなどに、その座をうばわれてしまったようです。さて、今年を丑年、モウ、烈に生きるもよし、のんびりと人生を反すうしながら生きるもよし、ともかくも角つき合わずに仲よくいききたいものです。

その後の、農業のほか交通、運搬などにも牛が用いられるようになりましたが、これは人間の肉以外の力を動力に利用した最初の試みの一つだとされています。そして、十七・十八世紀になって蒸気機関が発明、実用化されるまで牛をしのぐ技術上の進歩は見られないといえますから、いかに長い間、牛が新技術として「君臨」してきたかが分かります。

とはいえ、いまでは全く牛の働く姿が見られなくなり、トラクターなどに、その座をうばわれてしまったようです。さて、今年を丑年、モウ、烈に生きるもよし、のんびりと人生を反すうしながら生きるもよし、ともかくも角つき合わずに仲よくいききたいものです。

その後の、農業のほか交通、運搬などにも牛が用いられるようになりましたが、これは人間の肉以外の力を動力に利用した最初の試みの一つだとされています。そして、十七・十八世紀になって蒸気機関が発明、実用化されるまで牛をしのぐ技術上の進歩は見られないといえますから、いかに長い間、牛が新技術として「君臨」してきたかが分かります。

とはいえ、いまでは全く牛の働く姿が見られなくなり、トラクターなどに、その座をうばわれてしまったようです。さて、今年を丑年、モウ、烈に生きるもよし、のんびりと人生を反すうしながら生きるもよし、ともかくも角つき合わずに仲よくいききたいものです。

その後の、農業のほか交通、運搬などにも牛が用いられるようになりましたが、これは人間の肉以外の力を動力に利用した最初の試みの一つだとされています。そして、十七・十八世紀になって蒸気機関が発明、実用化されるまで牛をしのぐ技術上の進歩は見られないといえますから、いかに長い間、牛が新技術として「君臨」してきたかが分かります。

とはいえ、いまでは全く牛の働く姿が見られなくなり、トラクターなどに、その座をうばわれてしまったようです。さて、今年を丑年、モウ、烈に生きるもよし、のんびりと人生を反すうしながら生きるもよし、ともかくも角つき合わずに仲よくいききたいものです。



ことしは丑年 角つき合わず 仲よく



村の丑年生まれの人 799人 (S59.11.1日 現在)

年号	人数	総人口対比%
明治22年	1人	0
明治34年	3	0.35
大正2年	74	0.82
大正14年	119	1.33
昭和12年	115	1.28
昭和24年	202	2.25
昭和36年	108	1.20
昭和48年	149	1.66